

# 松風会 NEWS

(ゆめクラブ News) 410号 2020年(令和2年)10月号

9月に入っても真夏日が続いている中で、大型台風9、10号が相次いで沖縄、九州に上陸し、多大の損害をもたらしました。一方で、コロナの感染状況は8月下旬から全国的にも少々縮小傾向の気配を見せてはいますが、決して油断してはならず、茅ヶ崎市管内でも隔日に1~3名の感染者が報道されています。“巣ごもり”の自粛生活を余儀なくされてから約半年経過、心身共に健康を維持することが如何に至難のことか、最近よく判ってきました。自粛生活では特に人と人の絆が薄れがちになるので、家族や友人との結びつきを強めるなど、何らかの心のケアが大切ようです。これからが秋本番の好季節が到来するので、「GO TO トラベル」を利用して「3密」のない静かな自然を満喫できる場所を見つけて、家族旅行などで気分を一新されてはいかがでしょうか。

10月度定例会：10月10日(土) 10:00~11:00 自治会館集会室で行います。前回定例会と同様に、出席される方はマスクの着用、平熱の状態を条件といたします。長い自粛生活で疎遠になっている会員間相互の意思疎通を図るためにも大勢の方のご出席をお願いします。恒例の文芸作品展は中止といたします。

## 1. 9月度定例会・誕生会 (9月12日 10:00~11:00 出席者 24名 会員総数 58名)

① 誕生会：9月度誕生の方は 那須弘子さん、岡本トミさん、森 郁子さん、西谷昭夫さんの方々でした。おめでとうございます。全員でハッピーバースデーを歌って、記念品を差し上げました。出席者の那須さんから「これまでは病気がちで、対処療法として基本的に手術は極力忌避して、投薬のみに依存していたが、専門医からも手術による治療で早期に健康体に回復ができるとの強い勧めもあり、数年前に手術を実行したところ急速に以前の元気を取り戻すことができ、それ以来は趣味やサークル活動などに参加して、楽しく生き甲斐を感じている今日このごろです。」と返礼のご挨拶がありました。(誕生月の岡本トミさん、森 郁子さん、西谷昭夫さんは欠席)

9月は松風会誕生月で、例年は若干の余興とお弁当で会食を行い楽しいひと時をすごしてきましたが、今年はこのコロナ禍で会館での飲食がご法度となっていましたので、恒例の祝い品の「紅白饅頭」(昨年より大きめ)を出席者に配り、暫し談笑などでひと時をすごしました。定例会を欠席した方には「紅白饅頭」を各班長さんがお届けしました。会長からコロナ感染予防策として ①自宅のできる簡単な運動を欠かさない ②食事はしっかり食べて栄養をつける ③歯磨きの励行としっかり噛んでお喋りする ④家族や友人との支え合い などが肝要との話がありました。

② 10月度定例会は例年ですと、皆さんから文芸作品を持ち寄って展覧会を催すことになっていますが、今年度はコロナ禍のもと落ち着いた事情もあり、取り止めと致します。

## 2. 茅老連など連絡事項：

- ・茅ヶ崎市老人会の定例会は、当面の間各地区の代表理事による書類配布で周知徹底を図る。
- ・春の一泊親睦旅行(令和3年3月8日~9日)については保留です。
- ・お楽しみ会：9~12月は月曜日のみで、時間は13:00~16:00 集会室を予約してあります。

3. 10月度誕生の方々： 田嶋さか江さん、 児島 健さん、 岸間 正さん、平原 慧さんの方々です。  
おめでとうございます。

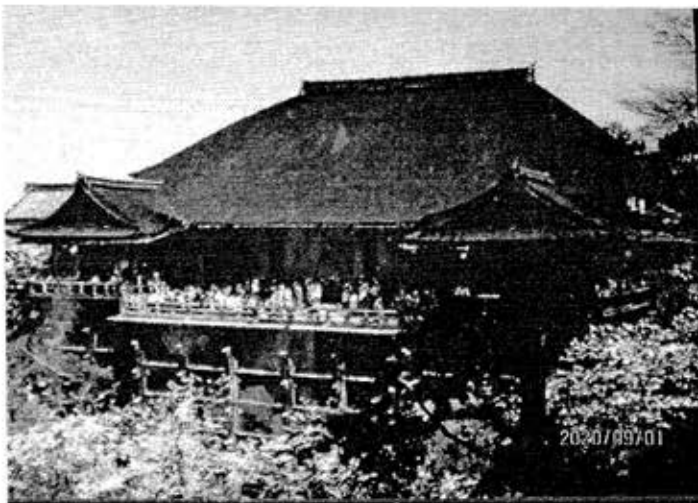
那須 嗣夫

新宿歌舞伎町ホストクラブでの歌会を俵万智さんら歌人3人が2年程前から講評やアドバイスをしているとの記事が文芸春秋(9月号)と朝日新聞8/13夕刊に出ていた。コロナ禍の中“夜の街”と繰り返し非難されホストたちの気持ちも弱っていたなか「自暴自棄にならないように」と歌会を開催。この程約3百首75人のホストによる「ホスト万葉集」が上梓(じょうし=出版)された。「夜の街」に向けられる目は変わらず厳しいけれど、だからこそ、読んでみて欲しいと俵さんは思う。「ホスト」いう記号でくくり切れない一人一人の思いがここに詰まっているから。以下ほんの一握りの歌を抜き書きします。

- ・ 千円を前借して口にするおにぎり一個の私の悔しさ
- ・ 取えない日々いつかまた会う日を望み84円に気持ちを載せる
- ・ 今日もまた売れない僕は酔いつぶれ思い出すのは母の泣き顔
- ・ トランプの絵札のように集まって我ら画面に密を楽しむ

田中久夫

コロナの話は辟易したと思うので、趣味の話をして。ゴルフ、麻雀、カラオケはサラリーマンの3種の神器といわれているが、私もゴルフが大好きである。でも自己流で癖が治らず、スコアはいつも低迷している。下手でも楽しいのは、なぜだろうか。思いっきり球を打って遠くに飛ばす快感もさることながら、メンバーの失敗を横目で見て、ひそかにストレスを解消しているからであろう。ところがこちらが失敗ばかりしていると、それどころではない。自分で自分のストレスをためる結果になる。皆に快感を味合わせて、ストレスを解消させているのだから、良しとしようか。でも一向にうまくならない一。



世界遺産—日本シリーズ : 京都「清水の舞台」



秋の到来を告げる清楚な花；コスモス

(真野さん提供)